

先生 教壇復帰もう大丈夫

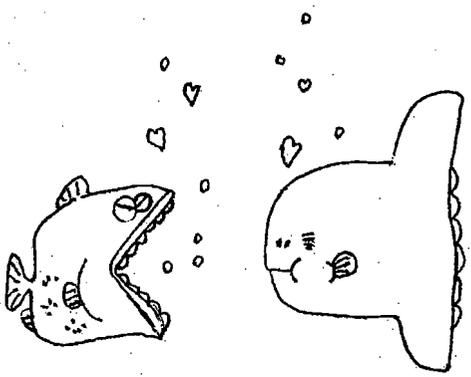
事故で重度の障害を負いながら、教壇復帰を目指してリハビリに励んでいる兵庫県尼崎市立若草中学の理科教諭、曾我部教子さん(仮名)が十一日、港区の海遊館で開かれたサタデースクールで授業をした。音声認識装置のついた最新式パソコンを使って、小学

生たちに「生物の繁殖」について話した。久しぶりの授業は満足の内容ではなかったというが、「現場に戻りたい、という気持ちほとんど強くなります」。新たな一歩を踏み出した手ごたえを感じていたようだった。

重度障害越え 女性教諭

海遊館でパソコン授業





海遊館の大水槽を眺めら

れる「ビューン・グルー
ム」で行われた授業には、
小学校高学年の児童と父母
計約二十人が参加。曾我部
さんの声に反応して大型毛
ニターに映し出された図や
写真が切り替わるパソコン
を使って、視覚的な授業を
試みた。

サタデースクールは、学
校が休みの第二土曜日に開
催。普段は海遊館の職員ら

くの卵を産むかを実感させ
たり、鳥やサルは親の保護
があるから出産数が少なく
てすみことなどをビデオ映
像に数えて、魚がいかに多
くの卵を産むかを実感させ
たり、鳥やサルは親の保護
があるから出産数が少なく
てすみことなどをビデオ映

「焦点ぼけ」と自己採点

が講師を務めているが、こ
の日は特別講師として曾我
部さんが登場した。

像を交えて説明。介護者の
助けも借りて約一時間半、
生命の戦いを買っていき、
白かった」と話したが、曾
我部さんは「焦点がぼけて
しまっ。話の流れが悪か

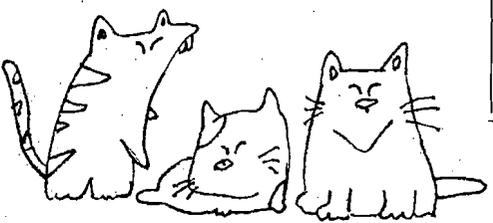
ったかなあ」と、厳しい自
己採点。だが、「信じたこ
とに向かって努力すれば、
必ず実現すると信じていま
す。早く教壇
に立ちたい」と熱意を語
った。

パソコンの指導など曾我
部さんの復帰を支援してい
るボランティア団体「プロ
ップ・スナッシュ」の竹
中ナミ代表は「まだ機械の
扱いにまだどいがあるよう
だが、慣れば問題ない。
中学校なら生徒の方から授
業を支えてくれるはずだ
し、教壇に帰るのは可能だ
と思います」と話してい
た。



④海遊館のサタデースクールで、ビデオ映像を見ながら授業をする
曾我部敦子さん(右)

⑤曾我部さんの指導で、パソコンを頭微動で観察する児童の
一瞥(いずれも海区の海遊館)

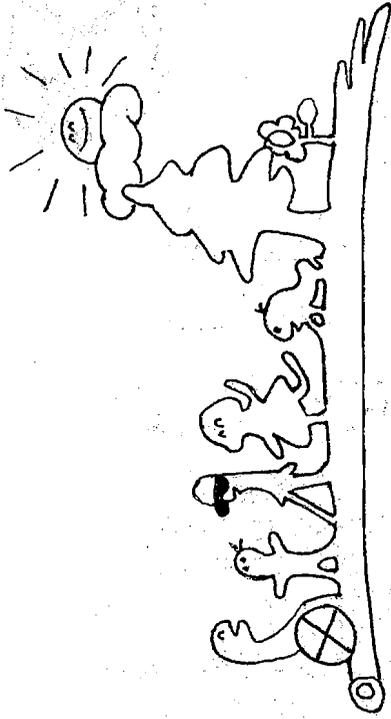


1993年

(平成5年)

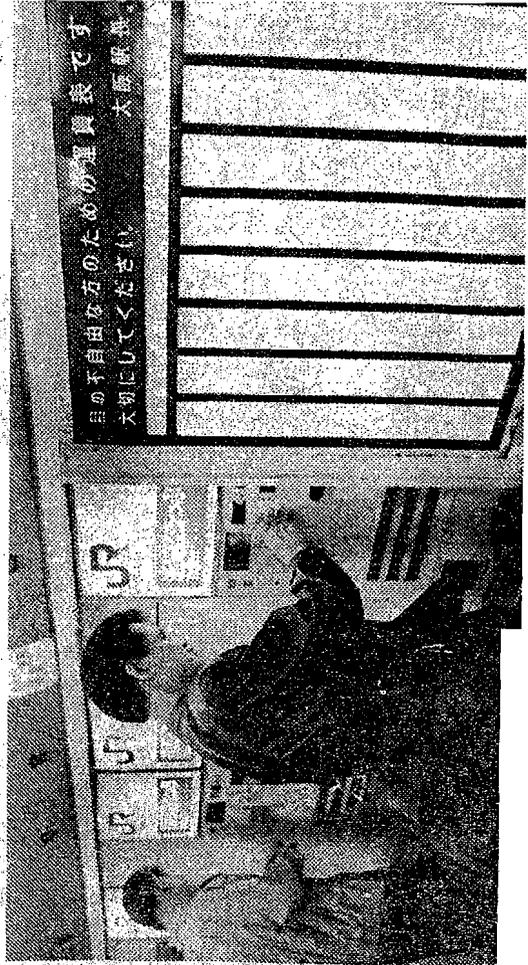
12月12日

朝日新聞



朝 日 新 報 1993年(平成5年)11月13日 土曜日

点字の料金表から3台目の切符自動販売機には、点字の表記がなかった



金原の著者たちが、JR大阪圏など交通拠点の「視覚障害者用アクセスマップ」の作成を計画、協力するボランティアを募集している。マップは紙でも紙ではなく、パソコンでデジタル化し、音読装置を使って耳で聞くもの。著者たちは「視覚障害者がコンピュータに慣れ、仕事や社会参加の機会を増やすきっかけになりたい」と張り切っている。

視覚障害者に 愛のマップを

朝日新聞社
〒100-8701 東京都千代田区千代田1-1-1
電話 03-5561-1111

音声フロッピーづくり交通案内

市民団体 フロップステーション

視覚障害者向けのアクセスマップづくりを計画している亀山英昭さん(右)ら

北区の大阪ボランティア協会で



拠点駅や地下街調べて入力します

マップを作るのは、障害者、音声装置や点字プリンターの雇用開発を目指す市民団体「フロップ・ステーション」(竹中ナミ代表)のメンバーで、プログラマーの亀山英昭さん(右)、舛川博之さん(左)ら。

五月に、視覚障害者の職労や社会参加に有効な点字ピエーターを普及させる目的で、「視覚障害部」を発足させた。だが、勉強会を開こうにも、会場に一人で

19日、西区で説明会

歩いて来られる人が少ないのに気付いた。通い慣れた場所ならホームや改札口の位置や通路などが頭に入っているが、初めての場所は、迷うことが多い。

車いす用のガイドマップは各地で作られているが、視覚障害者用は、古いものしかない。点字のものは情報量も限られていた。亀山さんらは「点字本など、紙の量が膨大。フロッピーなら簡単にコピーができる

ボランティア募集

11・71780。

丁目のJBS日本福祉放送で開かれる説明会への参加を呼び掛けている。連絡先は、亀山さん(078・4



ホームへの階段の手すりに付いた点字表記=上の写真とともにJR大阪駅で

FLANKER表紙絵でおなじみの絵本作家、鈴木純子さんのCD-ROM絵本、「グラン・マーメイドとマジカル・ビレッジの仲間たち」が発売されました。FLANKERの表紙絵を飾ったキャラクター達が勢揃い！クマさんの音楽と共に、FLANKER読者には見逃せません！

ここで嬉しいお知らせ！このCD-ROM絵本を、プロップ会員の皆様には、定価8,600円を消費税・送料込で6,800円でご提供いただけることになりました。お申し込み・お問い合わせはプロップ事務局まで。



GRAN MARELLE LADE MAGIE ANNIWAGE

グラン・マーメイドとマジカル・ビレッジの仲間たち

CD-ROM
for
Macintosh

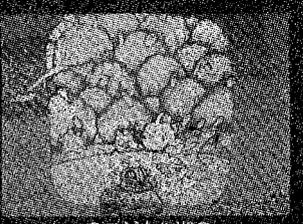
新聞
テレビ

読売新聞<11月11日掲載>

注目CD-ROM絵本



●未来の花園●



●マジカル湖●



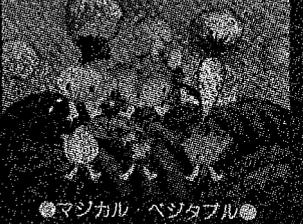
●マジカル・マウンテン●



●流れ星の一本杉●



●ティップタップ・ティンクル●



●マジカル・ベジタブル●

全二十八話を組み込んだ本格的絵本！

マジカル・ビレッジの村人には、おまげない熊、飛ぶ人魚、チョウになれないイキ虫など、選んで足元の狼狽に気が付かない足なが族は、独り立ちできる誰かさん、嵐のいい悪魔はまるで思慮深い耳をかたむけてしばし時を過せば、あなただけの心は、やさしい風持ちで満たされます。村人の話に仕事や勉強、そして音読や算数に、忙しく遊ばせられている私たち、それはそれで楽しいことですが、でも、気持ちがいまより落ちこんだとき、日常の疑問をためて逃げこめるところがない自分だけのやさしい場所を絵本にしました。

子供の心を持ち続けている大人たちに読んでもらいたい絵本です。鈴木純子

人クローズアップ

画家

西村勇三さん

聞き手： 石田 京愛 (ハンドル・京愛)
竹中 ナミ (ハンドル・ナミねえ)
カメラ： 木地本昌弥 (ハンドル・KIII)

今回ご紹介するのは、画家の西村勇三さんです。西村さんは主に油絵で、静物画を描いておられ、その独特の画風は西村さんのお人柄が偲ばれます。西村さんのお父さまは民社党の元委員長の故西村栄一氏で、弟さんは現在、民社党の衆議院議員をなさっています。実は西村さんは僕の先輩でもあり、大阪堺養護学校の第一期卒業生でもあります。画家・西村勇三さん訪問記を、私、京愛が報告いたします。

11月3日、文化の日。ナミねえ、KIIIやん、京愛というちゃんこ鍋トリオがホテル街をキョロキョロしながら歩いていた。画家の西村勇三さんにお話を伺いにいくのである。西村さん宅には、どうしてもホテル街を通らなければならない。2人より少し離れて歩こう……。そうこうしている内に西村さんのお宅に到着。一通り挨拶を済ませ、アトリエにお邪魔させていただき、制作風景を撮らせていただいた。お話は、西村さんの個展が開催されていたギャラリーでお伺いする、ということになり、一行はギャラリーへと向かった。

京愛 それではインタビューをさせていただきます。あんちょこ下さい(^^)

ナミねえ …… (しょうがないな、といわんばかりの顔で、メモを渡す。)

京愛 生年月日と本名、画号があればお教え願えますか。

西村さん えーと、名前は西村勇三。画号なんでもものはないです。

ナミねえ 西村勇三さん、でそのままということですね。

西村さん はい。ただ、(キャンパスに書くときの)サインはローマ字でYUZOです。

京愛 生年月日は…。(うーむ、僕の方がきんちょーしてる…)

西村さん 昭和20年8月26日です。48歳。

京愛 えーと…。(言葉がでんぞ。困った。)

西村さん 結婚して子供が2人いました。現在は独身です。

京愛 (いかん、早くしゃべらんと…)

えーと…あの一。

ナミねえ 京愛くんの方が堅いで。普通にしゃべったらええねん、普通に。。TVの真似したらあかんで。付き合いの関係があるんやから先輩と呼んだらええねん。

西村さん これ(テレコ)が回ってるから緊張しとんやで。

京愛 ううう…。(気を取り直して)

京愛 西村さんの時代だと、学校へ行くのにも相当困難だったと思いますが、当時の苦労話やエピソードなどを…。

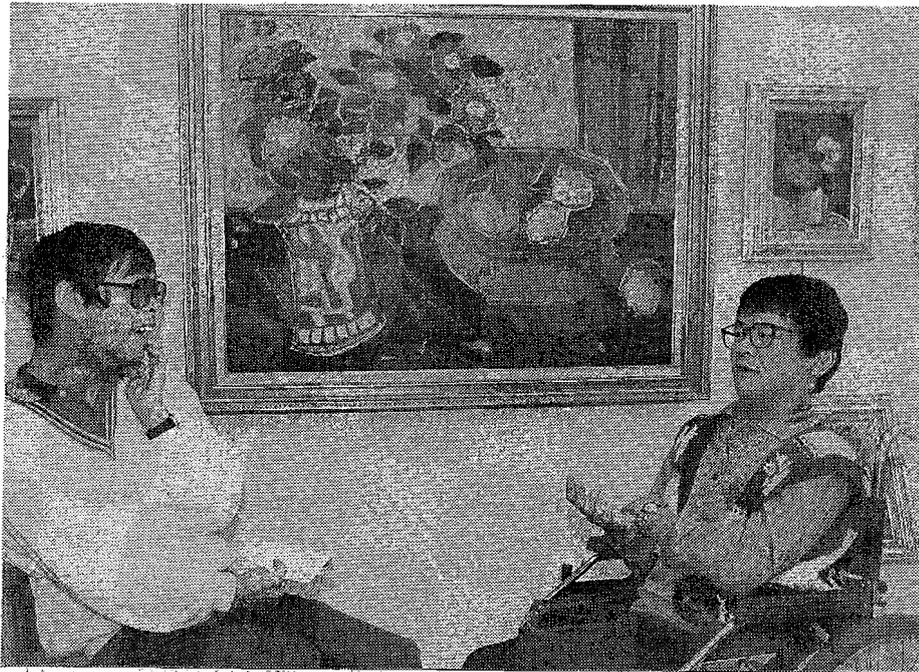
西村さん うーん、そうやね。あのね、昭和27年に盲学校の中に初めて(肢体不自由の)クラスができたのね。

京愛 あっ、そうなんですか…。じゃ、堺養護学校の前身は盲学校の中のいちクラスだったんですね(知らなかった…)。

西村さん そう。それで一番最初のクラスの生徒が8人で、先生が2人。当時「二十四の瞳」と言う映画がはやってたのね。

京愛 ええ。

西村さん ところがこっちは2人足りない。「二



西村さん(右)より、
なぜか緊張しているインタビューアの京愛くん・・・(;)

十の瞳」なのよ。

京愛 ははは・・・。

西村さん それで、12、3年たって、当時の者で集まろうと、と言う事になってね。先生が当時の記念写真を持ってきてくださったんです。それ見たらね、驚いた。難民よりまだひどい恰好だったのね・・・、時効やから言うけど。

京愛 ……

西村さん 物がなかった。それでね、その時分に養護学校へ入るのは東大へ入るより難しかった。

京愛 堺養護は養護学校の東大だと聞いていました。

西村さん そう。今でこそ門戸は誰にも開かれています。でね、当時僕はね、ちょっと話が飛ぶけど、神戸のYMCAと朝日新聞の厚生文化事業団でね、小豆島でキャンプをやってるんだけど、そこに10年参加させてもらった。そのキャンプでも学校でもそうなんだけど、一番重くて入る訳、僕は。

京愛 重く、とは？

西村さん 重度で入るわけ。出る時は軽度で出る。僕の状態がかわったんやなく、僕より重度の子が入ってくるからね。

京愛 ええ。

西村さん 当時僕は歩いてたから、軽度とばかり思った。(学校を)出たとたん仕事はない、ね。何も出来ない。それである美術学校に願

書を取りに行った。

京愛 はい。

西村さん 提出ではなく、もらいに行ったのね。そしたら係りの人が、あなたは体が不自由だから試験は受けさせませんと。

京愛 そ、そんなん・・・。

西村さん (入学するためには) どうするかと言うとね、入学金と協力金となんやら調達費とそれに20万円を出して頂いたら無条件で入って頂きますと。昭和39年当時で40万円とさらに20万。

京愛 うわあ、それは・・・(京愛、絶句)

西村さん 何年かしてね、教授にその話を冗談めかして話したら、あんた来年から講師に来てくれて言われた。時代も変わったもんやなと思もた(苦笑)。

京愛 すごくお話ばかりで言葉が見つかりません。・・・次いきます(ハハ)。あの・・・絵はいつ頃からお描きになられてるのでしょうか。

西村さん 絵を描きだしたのは、小学の3、4年の頃からで、小児結核だったから、外へ出たらあかん、言われたから絵を描きだした。その時に一生懸命に勉強してたら僕は東大へ行ってたんと違うか(笑い)。

京愛 ふふふ

ナミねえ ほんまに??

西村さん いや、ほんまに(笑い)。あのね、当時は君(京愛)らの頃と違って設備も不備で、近所の子らと遊ぶんだけど、毎日ケンカはするわ、石はぶつけられるわ、毎日からかわれた。ところがね、子供って面白いものでね、自分に出来ない事が、よその子に出来ると、その子は神様みたいになっちゃう。僕はね、足で鶴が折れたからね。もう僕は神様になった。

ナミねえ 京愛くん、えらい緊張してるね。それ(あんちょこ)を西村さんに見せて、それに沿って話してもらい。

京愛 ……お願いします。

西村さん はい、はい。そやけどあんた（京愛）も声ださなあかんで、インタビュアーやから。

京愛 はい……。ははは（元気がない笑い）。

（学生時代のお話が続きましたが、紙面の都合割愛させていただきます。お話は頰椎症の体験談に移ります。）

西村さん あのね、頰椎症で頭蓋骨陥没の為、手術して、直ってから受診に行ったとき、全然知らない看護婦さんが「西村さん、直ってよかったね」と手をとって泣かんばかりに喜んでくれた。なんでこんなに喜んでくれるのかと思たらね、その人は手術室にいた看護婦さんで、先生が「こりゃだめかもわからん」って言い合ったんよ、後遺症もなくって……。って喜んでくれた。いろんな人に迷惑かけてるんだなと思った。

ナミねえ 頰椎症で、というのはどうなったんですか。

西村さん えとね、医者が言うには、絵を描いてる時に無理な姿勢をしたからなつたと。僕の頰椎なんてもうボロボロですよ。一回で手術出来ないから5回ぐらいしてますよ。ところがあまり効果がなかったからね、先生がもう迷いましてね、やめとこや、と。

京愛 僕も頰椎症なんですけど、幸い手術しなくて今まで来てます。頰椎症の手術は命がけと聞いてます。

西村さん そう。一番困るのは、僕同窓会の会長などしてるから、手術した方がいいですか？やらない方がいいですか？僕に決めて下さい、と相談を受ける。そんなこと僕が決められる訳がない！

ナミねえ ははははは。

西村さん 本人から言うてくるならまだいいんです。親御さんから言うて来るときもある。

京愛 ははは、それは困りますね。なんていうか……。

西村さん 腹立ってきてね、怒ったこともある。本人はどう言うてますか、と聞くと、子供はやると。ほんならやらせてあげなさい、40の子供つかまえて、親が決めるなと怒鳴った。

京愛 卒業されてからはどうされてたんですか。

西村さん 絵はずっと描いていましたが、セラピストになろうと思ってた。

京愛 セラピスト。

西村さん 東京へ行って2週間ほど講習を受けたら、資格は簡単に取れた。こりゃいけると思って、続けてみたら実技があった。針も全部あるわけ。こりゃあかんとおもてやめた（笑い）。その次にやったのが和文タイプ。やってみたら意外と早く打てる。それで職業訓練校へ面接に行ったのね。そしたら断られた。脳性マヒの人はなんぼやっても打ちむらができるからと。

京愛 なるほど（納得してしまっただが……）。

西村さん 和文タイプやったおかげで絵を描くのが楽だった。

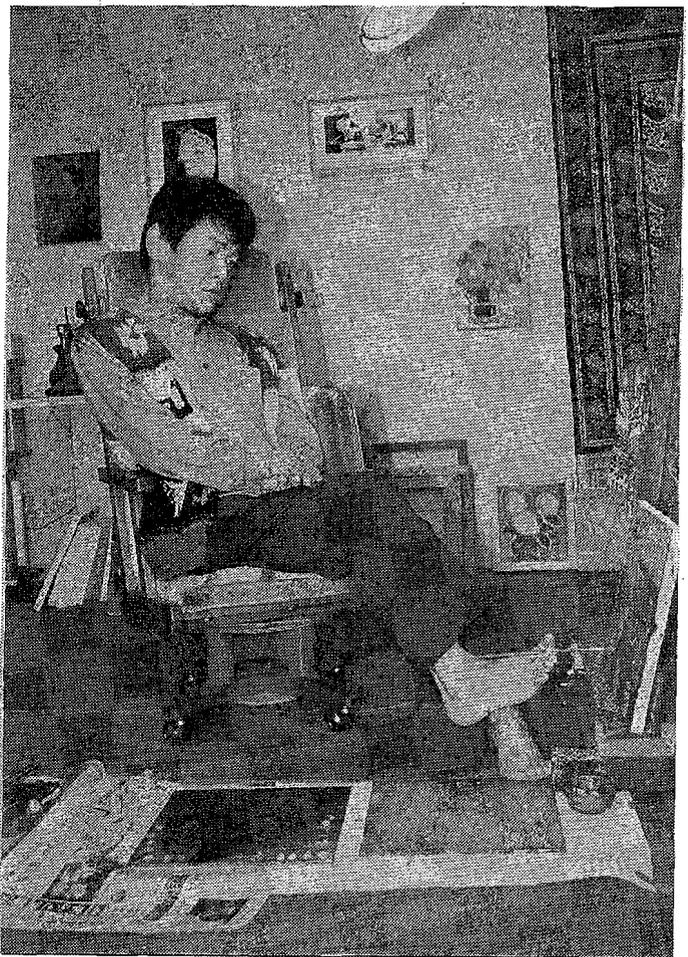
京愛 为什么呢？

西村さん その頃の和文タイプはね、字を逆さまに見るの。こうして（紙を天地逆にして）見るから大きいキャンパスに描きやすかった。

京愛 その他には。

西村さん セールスもやったね。

京・ナミ どんなセールスを？



アトリエでの制作は足の指に絵筆をはさんで…

西村さん いろんなものをやったね。口だけは達者だったからね。

ナミねえ なるほど。分かります (笑い)。

京愛 その間も絵はずっと描いてはった?

西村さん 描いてたよ。

京愛 それで、何かコンクールに応募しはるとかは?

西村さん 20歳の時にね、堺市展に初入選した。その時にめぐり会った先生が、「私は病気のことは分からないが、やってみよう」ということになって、その方が亡くなるまでついていた。

京愛 西村さんの師匠になる訳ですね。

西村さん ついてから自分で言うのもなんですけれど、出世するのが早かった。3、4年で太平洋美術会々友に推挙された。絵はそのころから本格的にやりだした。

京愛 すごいですね。

西村さん 初めての個展は親戚が絵を買ってくれたら、あとは売れない。それでね、30過ぎたころから見知らぬ人が買ってくれるようになった。これなら絵描きとして食えるのではと思ったのね。それで現在に至ってる訳なんです。

京愛 僕も俳句というクリエイティブな事をしている訳なんですけど、西村さんは絵を製作するにおいて、どのような点を注意なさっていますか?

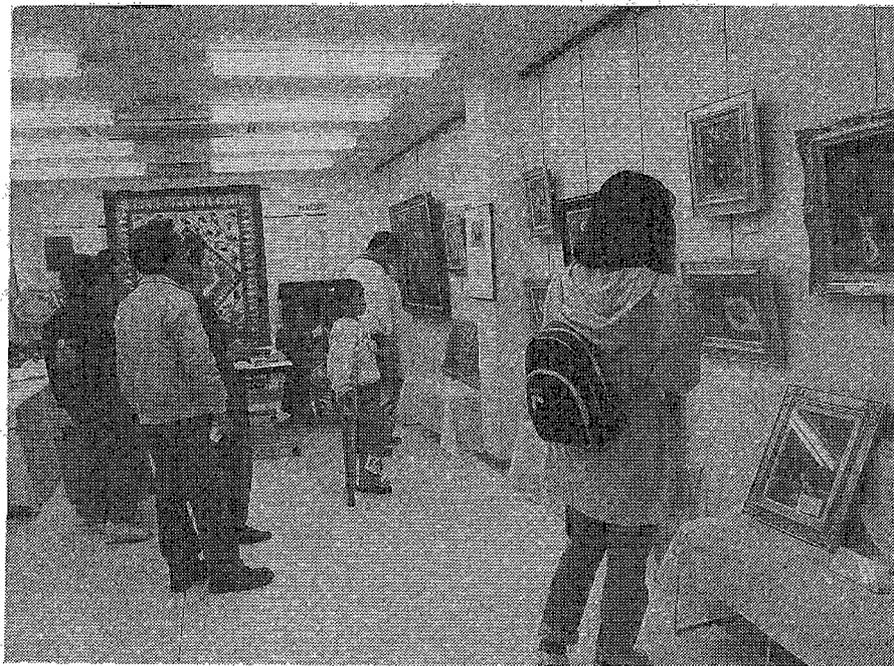
西村さん これはね、説明しにくいから。ヘンリー・マティスがね、「私のめざす芸術は、安定した心に不安を与えない・・・あらゆる仕事の人に鎮静剤や精神安定剤のように安らぎを与え、座り心地のいい芸術」。

京愛 ええ (僕も参考にしようかな・・・)。

ナミねえ 見る人に安らぎってマティスの言葉を引用されましたが、自己実現、自己表現で絵を描いておられる人もいると思うんですが・・・

西村さん はいはい。

ナミねえ でも西村さんは、マティスの言葉がお好きやという事は、ご自身の絵は人にとって安らぐようなものでありたい、と思っはるのですか?



個展会場風景

西村さん ということはね、僕の絵で僕自身も安らぎたいと思っている。だから絵というものはね、どんなに描いても自分以上のものは出ないし、自分以下のものも出ない。僕からのメッセージです。

京愛 あ、それは俳句についてもいえます (むむ・・・自信なくしそう。うつむく京愛)。

ナミねえ 今マティスの言葉を挙げられましたが、今まで絵を描いて来られて、他に影響を受けた・・・別に絵描きさんでなくても、そういう人は。

西村さん 影響ですか。僕はあらゆる人に影響されてますから。マティスとかね、内村和夫もいいと思ったこともあるし、良寛みたいになりたいなあと考えたこともあるしね (笑い)。すぐなりたくなっちゃう。

京愛 僕にとっても大変参考になるお話を聞かせていただいて、今日はありがとうございます。

ナミねえ ありがとうございます。京愛くん、これから君は西村さんに頭あがらん。

西村さん 石田くん (京愛の名前)、がんばりや。